令和7年5月版

簡易版

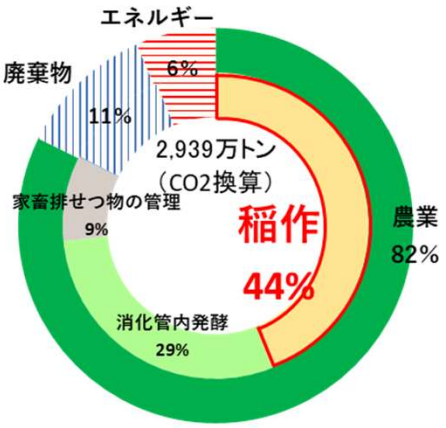
Ｊ－クレジット制度を活用して稲作の「中干し期間延長」に取り組んでみませんか？

Ｊ－クレジット制度とは

温室効果ガスの排出削減量を国が「クレジット」として認証する制度です。農業者の皆さんは企業等にクレジットを販売し、収入を得ることができます。

➢ 稲作と温室効果ガスって関係あるの？

- 水田に水を張ると、土壌中の微生物が温室効果ガスのメタンを発生させてしまいます。その量は日本全体で発生するメタンの４割にもなります。
- 中干しの期間を従来より１週間延長することで、このメタンの発生量を３割も削減できます。



日本のメタン排出量の内訳（2023年）

➢ どうやって取り組んだらいいの？

(1)事前準備

まずはこの３つの記録を用意！

①中干しの実施日数（直近２か年分）
②稲わらの持ち出し量（直近の稲作分）
③堆肥の施用量（直近の稲作以降）

重要ポイント！
現行の中干し期間が証明できないとクレジット化できません！

(2)取組実施

(1)事前準備の①２か年の平均実施日数より７日間長く中干しを実施します。取り組んだ圃場については、以下の情報の記録が必要です！

①中干しの実施日数（開始・終了日）
②出穂日
③稲わらの持ち出し量・堆肥の施用量　など

(3)クレジット取得

➢ 詳細はこちら

Ｊ－クレジット制度について

「中干し延長」取組の手引き

お問い合わせ先

【本省担当】
（Ｊ－クレジット制度全般について）
大臣官房みどりの食料システム戦略グループ
ダイヤルイン：03-6744-2473

（中干し延長の方法論について）
農産局農産政策部農業環境対策課
ダイヤルイン：03-3593-6495

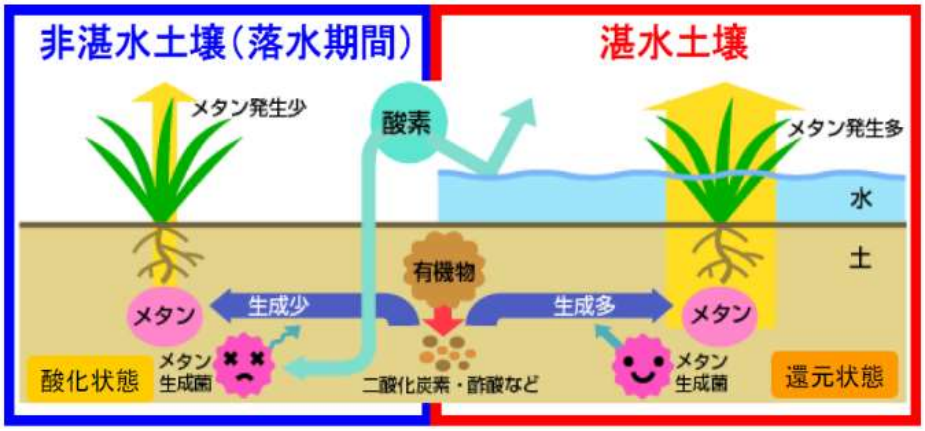
【Ｊ－クレジット制度事務局】
※ 書類の書き方など実務的な相談
みずほリサーチ&テクノロジーズ(株)
Ｊ－クレジット制度事務局
電話：050-3173-8916
メールアドレス：
jcre-info_at_mizuho-rt.co.jp

※SPAM対策のため表記を加工しています。
送信時は_at_の部分を@に置き換えてください。

農林水産省

➢ 水田で発生するメタンとは？

・水田では、水を張った状態で活発に働くメタン生成菌が、土壌中の有機物を原料に、温室効果ガスであるメタンを発生させます。
・**中干しの期間を従来より１週間延長**すれば、メタン生成菌の働きが抑えられ、**メタン発生量を３割低減**することができます。



（図の出典：農研機構）

プログラム型と支援策

・**農協、自治体等が取りまとめて取組を登録するプログラム型**であれば、個々の農業者の負担が低減できるほか、柔軟に会員や農地を追加できるなどのメリットがあります。

・プログラム型プロジェクトには、取りまとめ団体への**専門家派遣**やプロジェクト計画書の**作成支援**の仕組みがあります。

➢ いくらの収入になる？

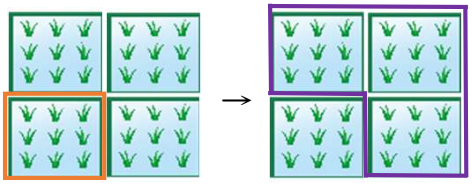
・得られるクレジットの量は、**水田の所在地域・排水性・施用有機物により異なります。**また、**クレジット単価は購入者との相対取引で決まります。**

・モデルケース（排水性が十分良い水田で、前作の稲わらを全量すき込んでいる場合）の試算では、地域により1,100円～3,900円/10a程度の収益を想定しています。（森林系クレジットと同様に、10,000円/tCO2で販売できた場合。）

➢ 連続7日間の中干し延長が不安な場合は？

・**グリーンな栽培体系加速化事業**（みどりの食料システム戦略推進交付金）を活用し、**先に地域の一部の水田で収量への影響等を実証してから、Jークレジットに取り組む**ことができます。

・「省力化に資する先端技術等」として、自動水管理システムや、生産管理記録作成の手間を軽減する営農支援アプリの導入等を組み合わせて実証できます。



①地域の一部の水田で、グリサポで実証　②地域に広げ、Jークレジットに参加